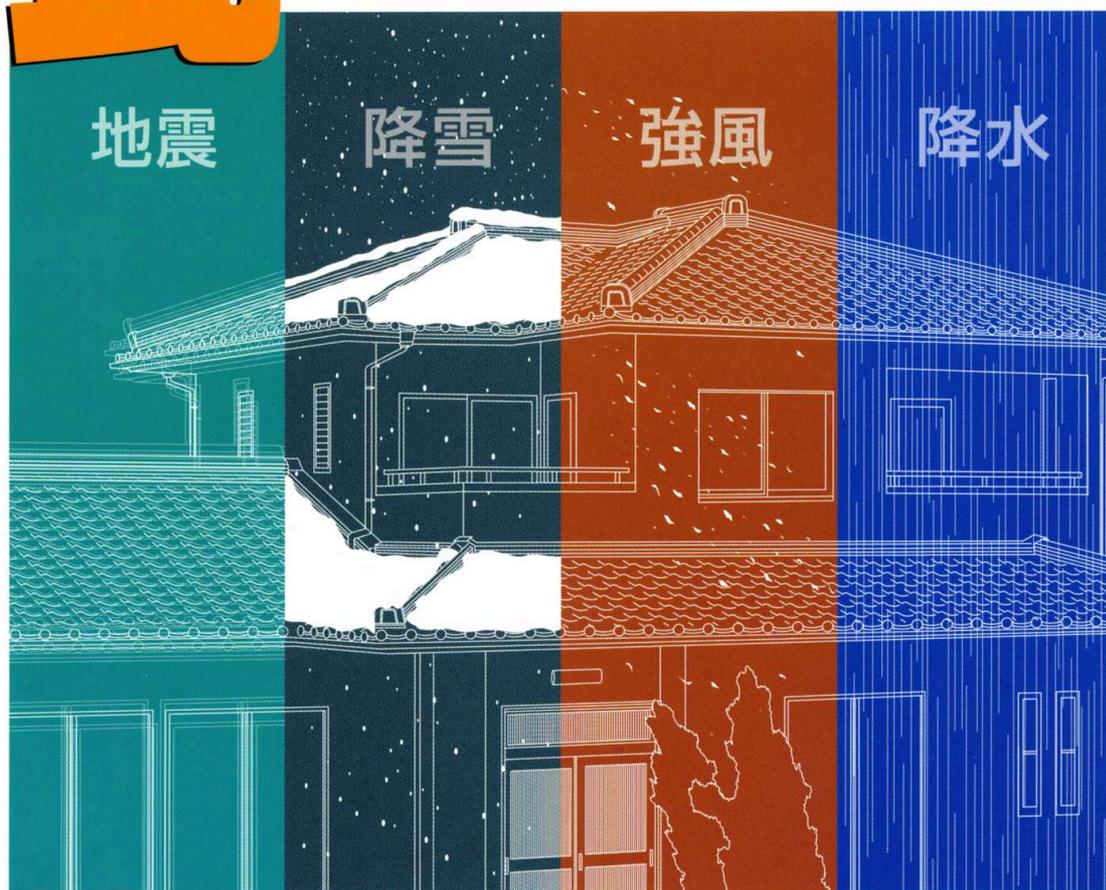


災害に強い 瓦のご提案



kamisei

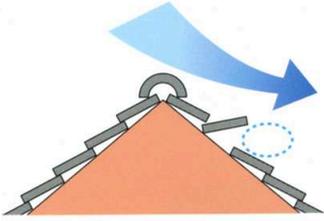
三州瓦

神清の瓦は安

ツメの部分を噛み合わせる**ジョイント構造**が、

通常の瓦

ジョイント構造の瓦



強風・突風時、**○**部分の気圧が急激に下がり、瓦が吸い上げられる恐れがあります。



地震に強い

万一の地震時にもジョイント構造でしっかりと固定。瓦のズレや落下を防ぐ縦横瓦「スクラム」なら、ジョイント+縦横のダブルロックでさらに安心。
※正しい方法で施工した場合。

Ibushigin



[イブシ銀]

洗練された美しさの中に光る、時代を超えて受け継がれてきた風格。

伝統的な日本家屋はもちろん、あらゆる現代建築にフィットする普遍的定番色。見た目の風格はそのままに、防災機能が進化しています。

Seihaku



[清]

伝統と屋根

落ち着き、モダンな、これからの

心の防災設計

優れた防災性と施工しやすさを発揮します。



風に強い。

造でガッ
ます。防
ント構造
心です。



台風や突風による瓦の被害をしっかりガードし、ズレや飛散を防ぎます。とくに軒下から巻き上げる風に威力を発揮します。

※正しい方法で施工した場合。



水に強い。

陶器質特有の滑らかさで雨の走りがよく、素早く流し落とします。また、三州瓦は水分をほとんど吸収しません。



雪に強い。

雪の加重を分散するので、屋根の痛みを防ぎます。



軽量化。

瓦そのものの軽量化を図り、建物への負担を軽減しました。



【**銀**】

新しさを兼ね備えた、
のニュー・スタンダード。

感じさせる「銀色」をベースに、
代建築にも映える色つやをプラス。
屋根瓦を担うニュー・スタンダードです。

Ginkuro



施工例



【**銀黒**】

定番の銀色に、
重厚な風格をプラス。

飽きのこない銀色をベースに、
重厚さと格調の高さを増した銀黒。
建物に風格を与える伝統的なカラーです。



現代建築にマッチする多彩なカラーバリエーション。

建物のデザインや街並みの雰囲気に合わせて、自由な感性で選びたいこれからの瓦。

カラーバリエーションを豊富にご用意して、多彩な建築ニーズにお応えしています。



HI SILVER
【ハイシルバー】



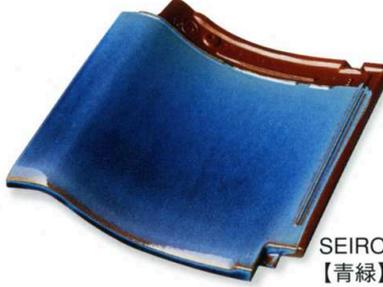
STRAIGHT BLACK
【ストレートブラック】



BLACK
【ブラック】



SEIDOU
【青銅】



SEIROKU
【青緑】



KOGANE
【黄金】



MARRON
【マロン】



CHOCO
【チョコ】



COFFEE BROWN
【コーヒーブラウン】

製造元

kamisei

三州瓦

株式会社 神清

本店 〒444-1323 愛知県高浜市田戸町二丁目5番地20
 本社 〒475-0807 愛知県半田市八軒町28番地
 TEL (0569) 22-4711 FAX (0569) 22-9367
 柏配送センター 〒277-0825 千葉県柏市布施158番地1
 TEL (04) 7132-3171 FAX (04) 7132-6638
 東山梨センター 〒409-1303 山梨県甲州市勝沼町小佐手字樋下430-1
 TEL・FAX (0553) 44-2603

ホームページ <http://www.kamisei.co.jp> E-mail info@kamisei.co.jp

お取扱い店

必ずお読み下さい。

安全に関するご注意

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。
工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- 万一の台風・強風・地震の後には、専門工事業者の点検を受けられることをおすすめします。

製品に関するご注意

- カタログの写真と実物とは多少異なる場合があります。
- 自然の風合いを活かしているため、粘土瓦特有の色幅があります。
- 経年により、自然な色合いの変化の可能性がありますが、製品の性能に影響はありません。

粘土瓦の特徴について

- 瓦は天然原料である自然の粘土を原料とした大型厚物焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、同一場所の採取でも全く均一ではありません。このように瓦は原料自体が均質化された工業原料ではなく、自然から生まれた生きた粘土を使うため、それ自体が機械化に向かうようにできていない、科学的な管理が難しい焼成品です。日本の瓦は約1000年以上前から作られてきましたが、製造技術・焼成技術が飛躍的に進歩し、大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然原料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらかじめご承知置きください。
- 粘土成分の違いや気圧など気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。
 - 焼きもの特有の若干のネジリや寸法のバラつきがある場合があります。また瓦は重ね合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生することがあります。
 - 施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
 - 陶器瓦(釉薬瓦)は貫入(かんにゅう)と呼ばれる表面亀裂が生じる場合がありますが、これは陶器製品特有の釉薬表面層に発生する亀裂であり、本体地までの亀裂ではなく品質の劣化を伴うものではありません。
 - 陶器瓦(釉薬瓦)には釉薬面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するものですが、焼きものとして、また屋根材としての品質上の問題は一切ありません。
 - いぶし瓦は経年の変化による黒ずみなどの色変化が発生する場合がありますが、これは自然素材であるいぶし瓦特有の現象であり、品質の劣化を伴うものではありません。
 - いぶし瓦は粘土に含まれる鉄分が瓦表面にある場合、雨水により点状の赤錆が発生する場合がありますが、これは品質的な劣化ではなく、表面層での一時的な現象であり、拡大したり、また内部に進行するものではありません。
 - 製品は改良のため予告なく変更することがあります。
 - 製品カタログ等の色調は、印刷のため実際の色とは多少異なる場合があります。



貫入(かんにゅう)の状態

ピンホールの状態